

「てんかん」という病気を知っていますか？

100人に1人が、かかっているといわれています。

そんな身近な病気でありながら、知らない人はたくさんいると思います。

知らないがゆえに、突然のてんかん発作を前にどうすることもできずに  
驚き戸惑うこともあるでしょう。

また、てんかんのある方も周りに打ち明けにくくて悩むこともあるでしょう。

本日3月26日は世界てんかんの日『パープルデー』です。ラベンダーのパープル（紫）が  
てんかんの国際的イメージカラーであったことから名付けられました。毎年この日はてんかん  
への関心、意識を高めるために、紫色のもの（ラベンダーの色）を身につけ、世界中で啓発活動  
を行っています。

カナダに住むてんかんの女の子が始めたこの活動は、「てんかんをもつ人を、ひとりぼっちにしない」  
を合言葉に世界中に賛同の輪が広まり、てんかんの正しい知識と理解を促し偏見をなくすために世界各国で  
イベントが開催されています。

2018年3月25日（日）、長崎でもはじめて「パープルデーながさき2018」啓発イベントを長崎県庁にて  
開催しました。約200人の市民の方が参加し、J1（ゼイワン）のV・ファーレン長崎の高木琢也監督にも  
応援に駆けつけていただきました。<https://www.v-varen.com/news/63134.html>

本日3月26日の夜に稲佐山の展望台が紫色にライトアップされます。

みなさん今夜はぜひ長崎の夜景に浮かぶ『パープル』を見つめてみませんか

